

菖蒲の庭から

自分の良さを見つけ、仲間と共に学び合う子どもの育成

「笑顔・あいさつ・思いやり」「勇気・挑戦・積み重ね」

小田原市立東富水小学校
学校だより R7 10月
第6号



朝、登校してくる子どもたちの長袖率が半袖を上回ってきました。朝夕は、ずいぶん過ごしやすくなり、夕方、中庭からは虫の音も聞こえてきます。秋の訪れを感じます。

学区の田んぼでは稲刈りが行われ、彼岸花が見事な赤い花を咲かせています。4年生の国語の教科書には「ごんぎつね」が掲載されていますが、この彼岸花を見る度に思い出すのは、この職業ならではのしょうか。もし、お子さんの教科書がお手元にありましたら、この機会に読んでみるのもおすすめします。小学生のころとは違う思いが浮かぶかもしれません。



さて、10月10日(金)は前期終業式です。10日にお渡しする通知表(のびゆく子)には、各教科の学習の様子である観点別評価と評定(3年生以上)が記入されています。学校では、それだけではなく、子どもたちが学習面・生活面ともに、これまでの取り組みや頑張りをふりかえり、後期からの明確な目標をもつことができるよう指導していきます。ぜひ、ご家庭でもお子さんと話をする時間をつくっていただき、後期の具体的なめあてをもって新たな気持ちでスタートできるよう、お子さんの成長を認め、温かい励ましのお声かけをお願いします。



インクルーシブな学校づくり



本校では、「インクルーシブ教育の推進～共に学び、共に育つ教育～」を学校経営の土台として、子どもたちがそれぞれの違いを知り、認め合い、助け合っている学校づくりをめざしています。今年度の具体的な取り組みをいくつか紹介したいと思います。

インクルーシブ朝会

9月26日(金)に行ったオンライン朝会では、担当教員が作った動画(力作です!)を見ながら、多様性(みんなちがってあたりまえ)、包括性(みんなできいっしょにやろうよ)、選択制(自分で合ったやり方を選べるようにしようよ)ということを知り、考える時間としました。

動画視聴の後は、各クラスで感想を交流し、自分の考えを広げていました。(次へ続きます→)



↑ インクルーシブ朝会 視聴中！
感想交流をまとめました！ ↓



支援グッズの紹介

朝会の後半にも話がありましたが、支援グッズの紹介、体験を順に行っています。今は高学年の体験期間です。支援グッズとは、落ち着いて授業に参加できるもの、個のスペースを確保できるもの、感覚刺激で安心感をもてるものなどがあります。眼鏡をかけたり車いすを使ったりするのと同じようなものです。例えば、聴覚が敏感な児童が使うイヤーマフ。気持ちを落ち着かせたり集中力をアップさせたりするときに使う触感のよいスクイーズグッズ。どこを読んでいるかわからなくなったり読み飛ばしてしまったりする時に使うリーディングトラッカー（色付きしおり）などなどです。私も実際、細かい文字の文章を読むときに、色付きしおりを使っています。（右の写真）

また、実際に支援グッズを体験・体感することで、感覚の違いに寄り添い、見えづらく、理解しづらいさまざまな困り感を理解することにもつながります。



↑イヤーマフ スクイーズグッズ↑



↑リーディングトラッカー（手作りです！）



環境の整備

誰もが過ごしやすい学校、障がいのことだけでなく“みんな”が楽しくて安全に生活できる学校になるように環境を整えています。例えば、学校には、段差がいろいろな所にあります。色が変わらなると見えにくいものです。

そこで、1階の渡り廊下や体育館周辺のコンクリートの段差、運動場につながる段差に黄色のペンキを塗りました。視力が弱い子どもたちだけでなく、“みんな”の安全や過ごしやすさにつながっています。

子どものうちからさまざまな人と関わり、多様な価値観を知り、自分とは違う個性や価値観を受け入れる心を育むことは、共生社会の担い手である子どもたちにとって大切な学びにつながっていくと考えています。



10/25の運動会に向けて

高学年が集まって応援の仕方を考えたり、表現の動きを覚えたり、動画を見て歌いながら自主的に練習したりと子どもたちの準備が進んできました。

自分たちで考えて取り組むこれらのさまざまな活動をとおして、友だち同士声をかけ合い、励まし合うとともに、本気で取り組む気持ちよさや楽しさを味わってほしいと願っています。

活動の様子は、随時、ホームページに掲載しています。また、後日、プログラムも掲載いたします。

保護者・地域の皆様、10月25日（土）は、子どもたちにぜひ、あたたかいご声援を送っていただきますよう、よろしくお願いいたします。ご来校をお待ちしております。

